

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-300159

(43)Date of publication of application : 30.10.2001

(51)Int.Cl.

B26B 21/12
A45D 24/18

(21)Application number : 2000-125812

(71)Applicant : SOMEYA NORIYUKI

(22)Date of filing : 26.04.2000

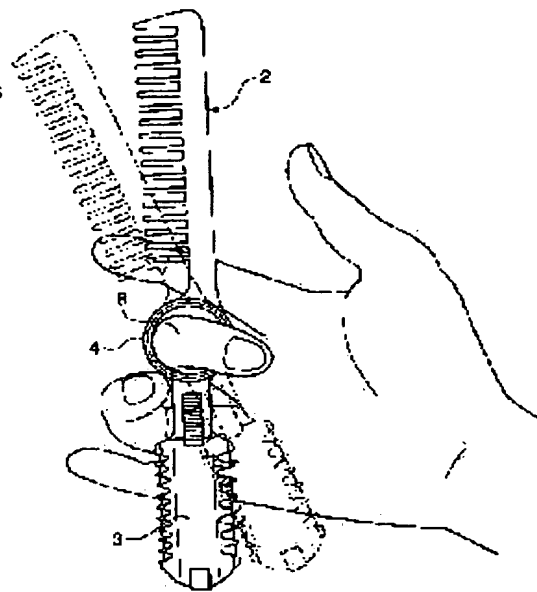
(72)Inventor : SOMEYA NORIYUKI

(54) HAIR TOOL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a hair tool with which the alternate and rapid selective use of a comb and a razor is possible.

SOLUTION: The rotatable hair tool comprises a comb part 2 which combs the hair, a razor part 3 which cuts the hair and a hinge part 4 which connects the comb part 2 and the razor part 3.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.04.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 28.10.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2003-22604

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 20.11.2003

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-300159
(P2001-300159A)

(43) 公開日 平成13年10月30日 (2001. 10. 30)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テ-マ-ト* (参考)

B 2 6 B 21/12

B 2 6 B 21/12

A 4 5 D 24/18

A 4 5 D 24/18

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-125812 (P2000-125812)

(22) 出願日 平成12年4月26日 (2000. 4. 26)

(71) 出願人 500194555

染 谷 典 行

茨城県北相馬郡守谷町大字守谷甲379

(72) 発明者 染 谷 典 行

茨城県北相馬郡守谷町大字守谷甲379

(74) 代理人 100081994

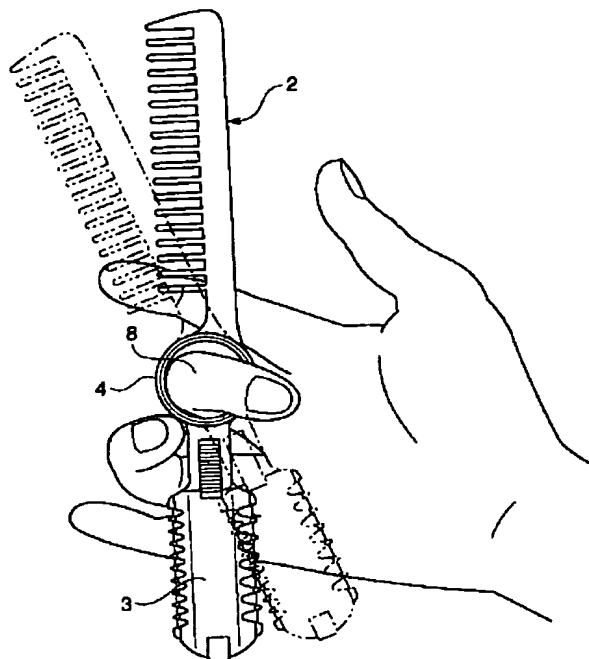
弁理士 鈴木 俊一郎 (外 3 名)

(54) 【発明の名称】 髪 具

(57) 【要約】

【課題】 櫛とレザーとを交互に速やかに使い分けることが可能な髪具を提供する。

【解決手段】 髪の毛を梳かす櫛部2と、髪の毛をカットするレザー部3と、これら櫛部2およびレザー部3を連結するヒンジ部4と、から回転可能な髪具を構成した。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 髪の毛を梳かす櫛部と、髪の毛をカットするレザー部と、これら櫛部およびレザー部を連結するヒンジ部と、からなることを特徴とする髪具。

【請求項2】 前記ヒンジ部は、指が入る環状の指輪を備えていることを特徴とする請求項1に記載の髪具。

【請求項3】 前記櫛部は、前記ヒンジ部に着脱自在に取り付けられていることを特徴とする髪具。

【請求項4】 前記櫛部と前記ヒンジ部とが一体に取り付けられていることを特徴とする請求項1に記載の髪具。

【請求項5】 前記レザー部は、替え刃が交換可能に取り付けられることを特徴とする請求項1に記載の髪具。

【請求項6】 前記櫛部には、多数の櫛が両側に設けられていることを特徴とする髪具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、髪の毛をカットしたりセットしたりするのに好適な髪具に関する。

【0002】

【従来の技術】 若い女性を始めとして年輩の男性に至るまで、年齢を問わず多くの人が髪型のおしゃれを楽しんでいる。髪型を自分の満足のいく状態に整えるには、通常、美容師などの専門職に任される度合いが大きい。その仕上がりは、ハサミを操作する手さばきの他、櫛やレザーなどの道具の善し悪しによって左右される場合がある。

【0003】 そのため、これらの作業を行う理容師、美容師にとっては、使いやすい道具の提供が望まれている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、髪の毛をセットしたり部分的にカットしたりするには、ハサミの他に、髪を梳かす櫛と、梳かれた髪を部分的にカットするレザーとを用いるのが一般的である。そのため、これに使用される道具の善し悪しが髪型の仕上がり具合に大きな影響を及ぼすことになる。例えば、髪の毛が多くてボリュームの厚い部分をレザーでカットする場合、通常、美容師等は櫛を使って髪の毛を梳かしていき、十分に髪の毛が梳かれた後、今まで使っていた櫛を、例えば作業台の上に載せ、今度はレザーに持ち替えて、他方の手に持った髪の毛をそのレザーで流すようにしてカットしている。そのため、このようなレザーカットを行う場合は、テーブルを近くに置いたりポケットを使うなどして、櫛とレザーとを交互に持ち替えながら、髪をセットしていく必要がある。したがって、こうした持ち替える作業は、スムーズに行われることが好ましい。仮に持ち替え作業に手間取ってしまうと、他方の手で押さえていた髪の毛の束が動いてしまい、微妙なカットができないという不具合が生じる虞がある。

【0005】 本発明は、このような実情に鑑みてなされたもので、櫛とレザーとを速やかに使い分けることが可能で、しかも使い易い髪具を提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するための本発明に係る髪具は、髪の毛を梳かす櫛部と、髪の毛をカットするレザー部と、これら櫛部およびレザー部を連結するヒンジ部と、からなることを特徴としている。このような構成によれば、櫛とレザーとを別々に用意して、これらを持ち替える必要がないので、作業性を向上させることができる。

【0007】 ここで、前記ヒンジ部は、指が入る環状の指輪を備えていることが好ましい。このようなヒンジ部を設ければ、ここに指を入れ、そのヒンジを支点として容易に回転させることができるので、櫛部からレザーに、あるいはレザーから櫛部に速やかに変更することができる。また、本発明に係る髪具では、前記櫛部は、前記ヒンジ部に着脱自在に取り付けられていることが好ましい。

【0008】 このような構成であれば、例えば、ロングヘヤやショートカットなど髪型にあった櫛を、それぞれ選択して取り付けすることができる。さらに、本発明では、前記櫛部と前記ヒンジ部とが一体に取り付けられていても良い。これにより、櫛部を安定した姿勢で使用することができる。また、本発明では、前記レザー部は、替え刃が交換可能に取り付けられることが好ましい。これにより、新しい替え刃に簡単に交換することができる。

【0009】 さらに、前記櫛部には、櫛が両側に設けられていても良い。このような構成であれば、例えば、目の粗い櫛と目の細かい櫛とのように、異なった櫛を具備させることもできる。

【0010】

【発明の実施の形態】 以下、図面に示した実施例を参照しながら本発明について説明する。図1は、本発明に係る髪具の一実施例を示したものである。この髪具1は、髪の毛を梳かす櫛部2と、髪の毛を梳かしながら部分的にカットするレザー部3と、これら櫛部2およびレザー部3を一体に連結する中央のヒンジ部4とからなるもので、これらは直線状に配置されている。中央のヒンジ部4は、環状の指輪4aを備えており、通常は、ここに利き手の指を入れて手の中で自由に回動できるようになっている。

【0011】 一方、レザー部3は、つまみ5を操作することで、表側のホルダー5を開くことができ、この状態から刃7を自由に取り替えることが可能になっている。櫛部2では、基部2aから一方の側のみ多数の櫛2bが形成されているが、基部2aの両側に櫛2bが設けられていても良い。櫛2bを両側に設ける場合は、櫛の粗

さを変えたもので構成すれば使い勝手が良好になる。

【0012】また、櫛部2をヒンジ部4に対し、着脱自在に取り付けすることもできる。このように構成すれば、ヒンジ部4にブラシなどを取り付けることもできる。また、多数ある櫛のうち数本の櫛2bが折れたり欠けたりした場合に、櫛部2をヒンジ部4から取り外して、新たな櫛部2と交換することもできる。また、取り外して洗浄することも自由に行うことができる。

【0013】次に使用勝手について説明する。美容師などが実際に手に持って使用する際には、図2に示したように、中指8等をヒンジ部4に通した状態で軽くレザー部3を握れば、髪の毛を梳かすための櫛として用いることができる。また、櫛部2による髪解きが終了して、今度はその部分をレザー部3でカットしたい場合は、ヒンジ部4を介して180°回転させ、櫛部2を握って、レザー部3を髪の毛に沿って流せば、部分的にカットすることができる。したがって、櫛部2で梳かした髪の毛を、その状態から直ぐにカットすることができる。また、カットした後に再度、櫛部2で梳かしたい場合は、上記と逆の動作を行えばよい。こうして、好みに合った髪型を形成することができる。

【0014】以上、本発明の一実施例について説明したが、本発明はこの実施例に何ら限定されない。例えば、ヒンジ部4は、中指と薬指、あるいは中指と人差し指など二本の指が入るようにしても良いし、レザー部3と櫛部2の形状は、実施例に限定されない。また、ヒンジ部4は外側リングの内側に、例えば滑りやすい材質からなる内側リングを一体に接合するなどして二重構造とすることもできる。このようにすれば、指の中で滑りやすくなる。勿論家庭用として用いることもできる。

【0015】さらに、上記実施例では、レザー部と櫛部とが直線状に配置されているが、これらの2つの部材を傾きをつけて配置することもできる。また、レザー部3を折り畳み自在にすることもできる。また、上記実施例の櫛部2では、全体が略一様な間隔の櫛2bにより形成

されているが、異なる間隔の櫛2bを配置することもできる。

【0016】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係る髪具によれば、櫛部とレザー部とが一体的に構成されているので、これらを別々に用意する必要がなく、一つの道具で両方を兼用することができる。また、髪型を整えている途中で、ヒンジ部に指を入れて回転させれば、櫛からレザー、レザーから櫛にワンタッチで変更することができる。したがって、作業性が向上する。また、美容師等は髪型に思いを集中することができる。

【0017】さらに、櫛部とヒンジ部とが着脱自在に取り付けられていれば、様々なタイプの櫛部を複数個用意しておくことにより、癖毛あるいは直毛など、髪質にあったものを使い分けすることができる。また、櫛部とヒンジ部とを取り外しができないように構成した場合は、使用頻度の高い櫛部を、より安定した状態で持つことができる。

【0018】さらに、レザー部の替え刃が交換可能であれば、新しい刃に簡単に替えることができたり、洗浄性が良好になる。また、櫛部の両側に櫛が設けられていれば、間隔、大きさ等の異なる櫛を具備させることができる。

【図面の簡単な説明】

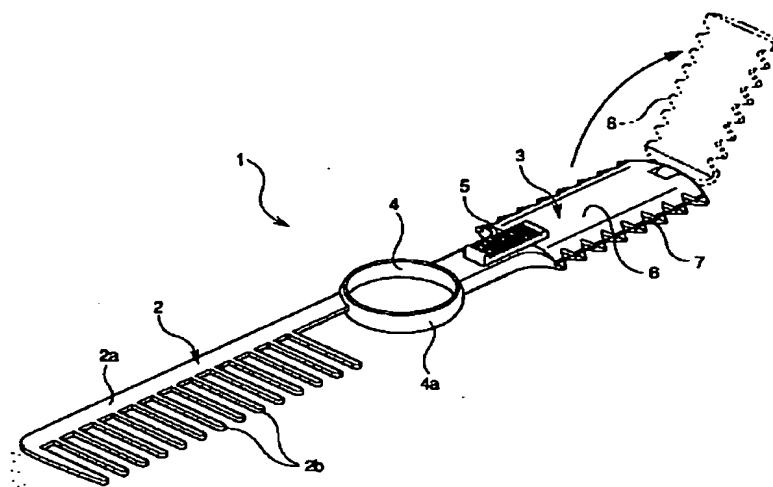
【図1】図1は本発明の一実施例による髪具の斜視図である。

【図2】図2は同実施例による髪具の使い方を示す斜視図である。

【符号の説明】

1	髪具
2	櫛部
2b	櫛
3	レザー部
4	ヒンジ部
4a	指環

【図1】



【図2】

